

校訓 強く・正しく・明るく・清く



黎明

いちき串木野市立羽島中学校だより 3月号
令和2年3月20日発行

式辞

暖冬だと言われた今年の冬も終わり、春がやってきました。

今年になり、新型コロナウイルス感染症が話題に上っていましたが、3月に入り、全国のほとんどの学校が臨時休業になりました。本校も3日から臨時休業に入ることになり、公立高校入試の事前指導も急遽行い、皆さんにとって不安の中での高校入試であり、そして今日の卒業式となりました。

今日の卒業式は、感染拡大を防止することから、在校生不在、ほとんどの来賓の方へ出席を遠慮していただいたり、時間を短縮するために式次第を変更したりして行っています。でも、卒業生、そして保護者の皆様に対して、これまでの努力をたたえ、門出を祝う気持ちはこれまでと変わるものではありません。

このような形で、卒業式を迎えることを大変申し訳なく思っています。

さて、卒業生の皆さん、卒業おめでとう。

卒業証書を手にして、今、どんな思いが胸をよぎっているのでしょうか。面接練習のときに、中学校生活で一番印象に残っていることを聞きました。運動会や文化祭を挙げる人がほとんどでした。最高学年としての責任の重さ、いろいろな行事で果たす、役割の重さ。そして、リーダーとなって下の学年をまとめる難しさ。最高学年特有の悩みが多かったけど、それを乗り越えての達成感を語ってくれました。

また、10月か11月ぐらいからでしょうか、あなた方を見ていて、これまで以上に絆が深まってきたなあと感じました。皆さんは、羽島中の生徒のあるべき姿や、3年生としての在り方を、先輩に日々示してくれました。皆さんを手本に、先輩が明日からの羽島中学校を引き継いでくれると思います。

これから、人生の新たなステージに立つあなた方に、最後の話をします。絶対解を求めることも大事、納得解を探すことも大事ということです。絶対解とは、ペーパーテストで求められる答えです。納得解とは、答えが一つではなく、複数存在するかもしれない、場合によっては正解なんてないかもしれない、そんな問題に対して、自分やみんなが納得できるような解、答えこそが、納得解です。

皆さんが進学先で学ぶその多くは、絶対解を得るためのトレーニングです。中学までの勉強に厚みを付けたり、専門的な知識を得ることになります。これも大切なことです。

しかし、これだけでは通用しない社会になっています。ソサエティ5.0で言われているように、IoTやAI人工知能等を利用して、経済発展と社会的課題の解決を両立した、人間中心の社会の実現が求められ、一部ですでに始まっています。自動運転や無人のコンビニなどニュースで話題

になっていますが、これらもソサエティ5.0の流れです。東京都初の民間人校長を務めた藤原和博さんは、これまでの日本の教育や社会は情報処理力を重視しすぎてきたと言います。この情報処理力とは、正解のある問いを素早く解くような能力、絶対解を指します。藤原さんは、これからの時代で重要になるのが情報編集力だと言います。この情報編集力とは、自分中心に考えて答えを出すのではなく、他人の考え方や知恵、技術なども取り込み、正解のない問題を解決する能力、すなわち納得解を求めることです。

絶対解と納得解の両方の解決法を十分鍛え、これからの人生を切り開いていってほしいと願います。

さて、保護者の皆様、お子さんの御卒業、おめでとうございます。立派に成長した我が子を目の当たりにされ、感無量のこととお察しいたします。これまでの本校教育に対する御協力に感謝しますとともに、今後とも、御支援・御鞭撻をお願いいたします。

例年でしたら、たくさんのお来賓の方々にご列席いただくのですが、本日は代表してお二人の方にお越しいただきました。御多用の中、御臨席を賜り、卒業生の前途を祝福していただき、厚くお礼申し上げます。これからも一層温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。

令和2年3月12日

いちき串木野市立羽島中学校 校長 町田 達美

卒業おめでとう

3月12日(木)、第73回卒業式を実施しました。

本年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、出席者を卒業生・在校生代表1名・保護者・来賓2名とし、時間を短縮しての実施となりました。

在校生代表の前田大吉さんが送る言葉を、卒業生代表の中島紅さんがお別れの言葉を述べるとき、卒業生は、羽島中学校で過ごした3年間の様々な出来事を思い出しながら聞いていたことだと思います。保護者からは、このような社会情勢の中でも卒業式が実施できて本当に良かったとの声が聞かれました。無事に卒業式を終え、6名の卒業生が、羽島中学校を笑顔で旅立ちました。



【卒業証書授与】



【記念品授与】



【保護者代表挨拶】



【在校生代表】



【卒業生代表】

3学期学校評価

	評価項目	生徒	保護者	職員
1	宿題や学習用具の忘れが少ない。	2.8	2.7	3.0
2	家庭学習(90分を目安)に取り組んでいる。	2.7	2.5	3.1
3	学校に行くのが楽しいと感じている。	3.2	3.0	2.9
4	授業を理解している。	3.1	2.7	2.8
5	行事や生徒会に積極的である。	3.2	3.4	3.1
6	よくあいさつをしている。	3.3	3.1	2.9
7	地域の行事に参加している。	3.2	3.3	3.3
8	学校は悩みや相談に応じている。	3.0	3.3	2.8
9	学校は生徒や保護者の相談に応じている。	3.0	3.4	2.6
10	学校は学習評価を適切に行っている。	2.6	3.3	3.4
11	学校からの文書はわかりやすい。	3.2	3.4	3.3
12	家庭・地域・学校よ、よい信頼関係を保っている。	3.2	3.2	2.8
13	学校は家庭・地域と連携を図っている。	3.2	3.5	2.8
14	基本的な生活習慣が身に付いている。	3.2	3.2	3.0
15	自分で健康管理に努めている。	2.9	3.2	3.0
16	21時以降のノーティイ運動に取り組んでいる。	2.5	2.6	3.0
17	インターネット利用のルールをつくり、守っている。	3.0	2.9	3.1
18	家庭学習(90分を目安)を促している。	2.9	2.6	2.6
19	進路に関心を持ち、志を立てている。	2.9	2.6	3.1
20	P T A活動に参加している。	3.1	2.9	3.0
4そう思う、3思う、2あまり、1思わない 平均		3.0	3.0	3.0

3学期学校評価は、三者とも3.0を超えた項目は、「行事や生徒会」「地域の行事」「学校からの文書」「基本的な生活習慣」でした。気になる項目は、「家庭学習」「21時以降のノーティイ」「進路」でした。特に、メディアについては取組の難しさが感じられます。

1月のインターネット調査では、9割以上の生徒がインターネットを使用できる機器を持っており、自分専用携帯電話の所持率は約6割でした。今の社会にとって必要なものではありませんが、家庭でも子どもの使用状況やルールを確認してください。また、家庭学習の取組は、学校でも工夫していきたいと思えます。

鹿児島学習定着度調査結果より

右のグラフは、1月に実施された鹿児島学習定着度調査の結果です。県平均を100として本校生徒の平均点を表しています。



1年生は、どの教科も県平均を超えていました。2年生は、県平均には届きませんでしたが、昨年度よりも県平均との差が縮まりました。今後も、一人一人の学力を向上させられるように授業改善に取り組んでいきたいと思えます。

令和2年度4月行事予定

※変更となる場合もあります。※

日	曜	行 事	日	曜	行 事
3	金	入学式準備	17	金	耳鼻科検診
6	月	新任式、始業式、入学式	19	日	黎明祭
7	火	身体計測、1・3年知能検査	21	火	内科検診
8	水	標準学力検査(～9日)	23	木	歯科検診
10	金	1年心臓検診、生徒会対面式	24	金	移動図書巡回日
13	月	家庭訪問(14・16日)	25	土	小中合同PTA歓迎会
16	木	3年全国学力・学習状況調査、検尿	27	月	眼科検診

※生徒の皆さんは、新年度のスタートへ向けてしっかり準備をしていきましょう。

受 賞

☆かごしまジュニア検定 合格 2年 入枝 連

★おめでとう★